第１回　杉並区立中瀬中学校校舎改築検討懇談会会議録（要旨）

会　議　名	第１回杉並区立中瀬中学校校舎改築検討懇談会
日　　　時	令和２年７月 27 日（月）午後３時 00 分～４時 10 分
場　　　所	中瀬中学校　体育館
出　席　者	懇談会委員 20 名（欠席４名）
傍　聴　者	０名
次　　　第	１　開会 ２　教育委員会事務局学校整備担当部長挨拶 ３　出席者・事務局紹介 ４　進行役選任 ５　中瀬中学校の特色等について ６　懇談会の開催予定について ７　計画地の概要について ８　改築の基本方針について ９　懇談会ニュースの発行について 10　事務局からの連絡事項
資　　　料	資料１　杉並区立中瀬中学校校舎改築検討懇談会　委員名簿 資料２　中瀬中学校の改築について 資料３　計画地の概要 資料４　改築基本方針（たたき台） 参考資料１　中瀬中学校 70 周年記念誌 参考資料２　懇談会ニュース（杉並第二小学校校舎改築）

学校整備課長	皆様、こんにちは。定刻になりましたので第１回、今日からスタートになります杉並区立中瀬中学校改築検討懇談会を始めたいと思います。 本日はお忙しい中、多くの皆様にお集まりいただきましてありがとうございます。開催通知にも記載しましたが、新型コロナウイルス感染症対策ということで、本日の開催につきましては１時間程度とさせていただきます。議事進行へのご協力をお願いいたします。 それから今日お手元にお配りしておりますが、マイクで発言するときにはお手数ではございますが、こちらのビニール手袋をしてのご協力なども、併せて

	お願いしたいと思います。 　それでは、開催に当たりまして学校整備担当部長からご挨拶をさせていただきます。
学校整備担当部長	皆さん、こんにちは。学校整備担当部長でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 　まずは、このコロナ禍の中たくさんお集まりいただきまして、本当にありがとうございました。万全の対策を講じながら、この会議を進めていきたいと思っています。後ろに扇風機を用意しましたが、ちょっとうるさそうなので今は止めています。状況によっては稼働したいと思っています。 　杉並区のコロナ対策に関しましては、区役所を挙げて対応しているところですが、残念なことに先週、学校の名前は伏せますが、ある中学校で生徒１名の感染が報告されました。その生徒のいた学級、担任・副担任を含めて35名にＰＣＲ検査を行っているということですが、まだ油断ができない状況ではないかと思っています。そういった中で、この会議を開きます。本当にありがとうございます。 　本来ですと、年度明けすぐの４月から中瀬中学校の改築検討懇談会を開きたかったのですが、何分そういう状況にはありませんでした。この間、教育委員会の中でも学校と連携して、どうやって準備を進めていくか考えていて、本日これから職員が説明させていただきますが、様々な資料を作りましたので、ぜひ忌憚のないご意見を頂きたいと思っています。 　思い起こしますと、今年２月27日に準備会という形で一度、まだコロナもこれほどではありませんでしたが、中瀬中の図書館で会議を開きました。そのときに一度ご挨拶をしましたが、本日この場で改めて、初めてお目にかかる方もいらっしゃいますので、同じ話になりますが、もう一度簡単にご挨拶をさせていただきたいと思います。 　この懇談会に当たりまして、私が皆さんと共有したいものが２つございます。１つは、将来に向けて子どもたちのためにこの中瀬中学校を造り上げていくということで、大いに夢を、いい学校を造っていきたいという夢を共有したいと思います。 　もう１つ共有したいものがあります。それは課題です。新しい学校をつくっていくということは様々な課題、問題がある。そういったことを、ぜひ皆さんと一緒に共有していきたい。これから恐らく、検討していけばこういったことも考えなければいけない。こういったことも考慮する必要があるだろう、様々出てきます。そういったことも一緒に、課題の共有をして、いい学校を造っていきたいと思っています。 　この懇談会の位置づけは、杉並の学校づくりは全てそうですが、地域の皆様からご意見を頂いて、そのご意見を十分に踏まえた上で、最終的には区と教育委員会でこういった学校にしていこうという結論を出して学校の改築をするわけですが、私としてはここで皆様から伺ったご意見、あるいはそのご意見をも

	とに頂いた成案をできる限り反映させた形で区長に説明し、実現させていきたいと思っていますので、ぜひ多くのご意見・ご提案を頂きたいと思っています。 私からは以上でございます。ありがとうございました
学校整備課長	改めまして、私は教育委員会事務局学校整備課長です。学校の改築や修繕などを担当している課長です。どうぞよろしくお願いいたします。ここから座らせていただきます。 進行役の方をこの後選任いたしますが、それまでの間の進行をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 それでは、事前に送付しました資料、それから今日机にお配りしました資料の確認だけさせてください。 まず事前にお配りしたもので、資料１が委員名簿。 資料２が「中瀬中学校の改築について」ということで、２枚使ってのレジュメになっています。 資料３が、Ａ３の横長になっています「計画地の概要」です。 資料４が、Ａ４の横になっております「改築基本方針（たたき台)」。 参考資料といたしまして、中瀬中学校 70 周年、オレンジ色の記念誌。 参考資料２、杉並第二小学校を改築したときの懇談会のニュースをお配りしています。 席上に配付しています今日の改築懇談会のご感想シートを、時間も限られているので、最後に言い足りなかった部分なども書いていただくためのシートをご用意しています。 それから、第２回の改築懇談会の開催についてのご案内をお配りしています。 あと、事前に資料をお送りしたことを受けてでございますが、委員より頂いたご意見を後ろにつけておりますので、こちらもお配りしております。 資料は以上になりますが、過不足等はよろしいですか。もしありましたら、事務局まで言っていただければと思います。 懇談会を進めるに当たりましてお願いがございます。基本的にこの懇談会につきましては、原則公開となっております。会議録の要旨につきましても、併せて公開されます。会議の記録のために録音・撮影させていただきますので、その点をご了承願います。 あと、１つ皆様にお諮りしたいのですが、これまでも会議録につきましては発言者の氏名は伏せ、「委員」として記録を公表しておりますが、そのような形でよろしいですか。（委員頷く）では、公表の際にはそのような形を取らせていただきます。 それから、懇談会を傍聴したいとご希望される方がいらっしゃる場合は、基本的に認めることになっていますので、こちらについてもあらかじめご了承をお願いいたします。なお、本日傍聴は、なしでございます。 それでは続きまして資料１、本懇談会の委員名簿を御覧ください。本日の出席状況ですが、名簿のナンバーでいきますと、４名の委員からご欠席の連絡を

	受けております。 　本日は第１回目ということで、本来であれば顔合わせの意味でお１人ずつ簡単に自己紹介をお願いするところでございますが、２月の事前説明会で自己紹介をしていただいており、参加されていない方もいらっしゃいますが、コロナ感染防止の観点から時間短縮のため、この委員名簿をもって紹介とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 　なお、２月には学識経験者の先生２人がいらっしゃらず、本日初めてとなりますので、学識経験者のお２人の先生は、お手数ですが自己紹介をお願いできればと思います。
委員	皆さん、こんにちは。この４月から東京都立大学に戻りました。2005 年に東京都の４つの大学が統合されて首都大学東京となりましたが、４月から名称を東京都立大学に戻してスタートしています。 　私の専門は建築計画といいまして、医療施設、福祉施設、教育施設をこれからどう造っていくかを研究しております。具体的には、実際に建物を使っている人たちがどんなふうに使っているかを調査して、これからの計画にはこういうふうにしたらいいのではないかという研究をしております。 　今回専門委員としては初めてですが、皆様と一緒に地域にとってどういう学校が求められているのか。利用者にとって使いやすい学校とはどういうものかを考えていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
学校整備課長	ありがとうございます。 　それでは、お願いいたします。
委員	皆さん、こんにちは。私と杉並の関わりでいいますと、平成７年から５年ほど、杉並和泉学園の前の和泉中学校の校長をしておりました。その後間があって、平成 18 年から５年ほど、22 年まで天沼中学校の校長をしておりました。退職した後 23 年から 30 年まで、杉並の済美教育センターで仕事をしておりました。 　今は週に１回ほど、学芸大学の教員を目指す学生の就職支援・指導という仕事をしていますが、主に校長として、それから教育委員会の仕事として 18 年間ほど杉並に関わってきましたが、この中にもそのときにお世話になった方々がいらっしゃって、心強く思っております。 　教員生活は全部で 38 年だったと思いますが、残念ながら校舎の改築に関わったことはなく、体育館と校舎の一部改築は経験しました。今回の中瀬中学校の改築がよりよいものになるように、少しでも力を発揮できればと思っております。 　今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
学校整備課長	ありがとうございました。引き続きまして事務局職員、関係課職員の紹介ですが、こちらにつきましては資料１の裏面に事務局・関係課名簿を記載していますので、こちらで紹介に代えさせていただきたいと思います。 　それから、中瀬中学校の今回の改築の基本設計に当たりまして、設計を担当

	していただきますアール・アイ・エーさんにお手伝いいただくことになっております。今後懇談会に同席していただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。 　本懇談会は学校関係、町会・自治会の皆様、学識経験者の皆様と、多方面の方々に委員としてお集まりいただいております。議事の円滑な進行を担う役割として、どなたかに懇談会の進行役をお願いしたいと思っております。 　今までの懇談会では校長先生にしていただいていたこともありますので、もしよろしければ、校長先生に進行役をお願いできればと思いますが、皆様いかがでしょうか。
（拍手）	
学校整備課長	それでは、中瀬中学校の校長先生に進行役をお願いしたいと思いますので、席を移動してください。 　ここからは校長先生に進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。
進行役	座ったままで進めます。進行役に指名されました。中瀬中学校の校長として今年で６年目になります。ちょうど３年前に創立70周年記念式典を迎え、これでお役目は終わったと思ったら、終わった直後にこの話が舞い込んできて、頑張らなければと思っています。 　会の進行上、質問などは本日の議題の最後に時間を取りますので、よろしくお願いします。 　それでは次第に従いまして、中瀬中学校の特色を説明ということで、皆さんよくご存じの方が多いので、簡単にもう一度触れさせていただきます。 　70周年記念誌の10ページから歴史を書いています。11ページは中瀬中ができる前の航空写真で、見ますとここは高射砲陣地でした。その跡に中瀬中ができました。高射砲陣地ということは高いということなので、高いところの名残が校庭の一番東端の、ひな壇に残っております。 　（６）にありますが、校庭には２メートルを超える段差があったということで、覚えていらっしゃる卒業生も多いと思います。これを切り崩して埋めてということで、第２代の本橋ＰＴＡ会長が差配して、夜中じゅうトラックでたくさん運んでということがあったことも記録に残っております。 　中瀬中は創立期から結構活躍が見られまして、13ページにありますが、最初の10年間ぐらいの中で、特にサッカーが非常に強く、昭和25年、29年、30年、34年、37年、38年と都の中で優勝しています。関東大会の写真が残っていますが、非公式の関東大会で優勝。13ページの楯は、杉並区からそれを記念して送られたものではないかと思っています。 　部活が強いだけではなく15～16ページ、もう１つの中瀬中の大きな特色は「音楽の中瀬」というところです。今でもご存命で、お元気でいらっしゃる下田先生が中瀬中の教員に赴任されまして、日本で初めて宮前中と中瀬中で、四部合唱「大地讃頌」を中学生に歌わせる取組をして、杉並から「大地讃頌」は日本

	全体に広まって、今でも卒業式などでよく歌われる歌の１つになっています。 　エピソードでいうと 17 ページの右側に書いています、「ＴＢＳ音楽コンクール東京地区代表大会優秀賞（コーラス部２Ｄ、２Ｅ）東日本優秀演奏会出演」これはクラスで参加してクラスで競って、このとき２年生の２クラスが優秀賞が出ています。それぐらい合唱がものすごく盛んな学校でした。 　18 ページ、少子化の影響とともにいろいろなことがありまして、中瀬中の人数はどんどん減っていきます。平成 16 年の入学生が 52 名というときがありました。今は 140 名近く来ています。また復活していますが、その時代に中瀬中はなくなるのではないかと言われて、そのときにＰＴＡの方、地域の方が協力していただいて、中瀬中を立て直してくれたのが今でも続いている学校支援本部、ＣＳにつながっています。 　そのときの１つの取組が、中瀬中のすぐそばに住んでいて、今でもご存命のノーベル物理学賞を受賞した小柴先生が、散歩している井草川の道が散歩道にならないかと言われて、「科学と自然の散歩みち」を造りました。これは杉並の事業ですが、そのときに中瀬中生も関わりました。 　19～20 ページですが、それを受けて中瀬中でもビオトープを造りました。田んぼは今でも残って、今でも田んぼを造っています。きれいな大賀ハスが咲いています。 　高井戸中が有名ですが、各中学校にあるアンネのバラの、多分残りかなのというのがあります。高井戸中のようにすごくきれいではありませんが、いろいろな自然が残っています。 　それからエンカウンター、あるいはスペシャルオリンピックス。スペシャルオリンピックスというのは知的障害のある方たちの世界的なオリンピックです。細川元首相夫人がずっと中心となられて、３年ぐらい前まで細川さんに講演に来ていただきました。知的障害のほうのオリンピックです。身体のほうはパラリンピックです。去年までは、知的障害のあるアスリートたちと子どもたちがフロアホッケーで交流するということもやっていました。 　中瀬検定というのも地域の方、あるいは保護者の方の協力を得て、ずっとやっています。 　今でも部活は盛んで､平成 17 年には全国大会にハンドボール部が出ています。部活も、地域との関わりも、あるいは音楽も、すごく縁が深い中学校です。 　最近のことで言うと、50 人ぐらいの留学生がこの体育館に来て、学校をＡＢ組とＣＤ組に分けて、ＡＢ組は子どもたち、学年を越えて６人一組になって留学生と２時間かけて国際交流をしています。ただ、今年はこの状況だとそういうことは一切できないと、残念ながら思っていますが、できるようになり次第、そういう交流、あるいは先ほどのスペシャルオリンピックスの障害者理解など、いろいろなことを進めていきたいと思っています。 　最後になりますが、新しい校舎は 80 年後までを見越していますが、10 年先が分からない世界で 80 年先は読めないので、そのときそのときの生徒、先生、あ

	るいは地域の方がこういうふうにしたいというときに、それができるフレキシブルな校舎になってほしいと思うとともに、80 年後に古くなっても結構いいねと言われる校舎だとうれしいと思っています。 　学校は知の殿堂なので、そういう意味では図書館などが中心となって、ラーニングセンターの役割を果たす校舎であり、欲を言うときりがありませんが、あれもこれもというと多分ごみになってしまいますので、そのときの人たちが使えることも考えてほしいと思っています。 　長くなりましたが、以上です。 　次の議題に移ります。次第６「懇談会の開催予定」について、事務局から資料の説明をお願いいたします。
教育施設計画推進担当係長	学校整備課教育施設計画推進担当係長です。座って説明させていただきます。 　資料２「中瀬中学校の改築について」を御覧ください。こちらの資料につきましては、２月の事前説明会にご出席いただいた方にはそのときの内容を、直近の状況に反映したものになります。資料につきましては、２月の事前説明会のときにもお話をさせていただいておりますので、時間の関係上ご一読いただければと思います。 　「４．懇談会の開催予定について」になります。２月の事前説明会の際には、４月に第１回を開催すると記載していましたが、学校の休校や緊急事態宣言が出される中で開催を延期しておりまして、本日第１回の開催となりました。 　こちらに記載しております、第２回の施設見学については改めて最後の連絡事項のところでご連絡いたします。記載のとおり、月に１回ずつのペースで懇談会を開催しまして、年度末の３月に基本設計が完成するスケジュールと考えております。 　「５．改築想定スケジュール」になります。今年度と来年度が設計の期間となり、その後工事の期間となります。校舎の配置や工事期間、工事前の申請などで変わってきますので、いつから新校舎の使用ができるかは現時点では明確に申し上げられません。令和６年～７年度にかけて新校舎が使用開始できるという想定でございます。 　懇談会の開催予定については以上になります。
進行役	それでは続きまして、校舎改築検討を進めるに当たり、基本的な敷地条件を整理しておいたほうがいいと思います。 　本日資料３、「計画地の概要」の資料について事務局から説明をお願いします。
営繕課主査	それでは営繕課から、お配りしております資料３の「計画地の概要」についてご説明いたします。改築に当たっての基本的な情報として、中瀬中学校の敷地に係る関係法令と周辺環境、既存施設の概要についてまとめた資料になっています。 　最初に、左上の「用途・地区等」についてご説明をさせていただきます。 　周辺の地図に色を塗っているのが都市計画図で、杉並区で定めている都市計画の内容になっております。

	右に凡例がございますが、薄い緑色の地域が第一種低層住居専用地域、オレンジ色の地域が近隣商業地域となっておりまして、中瀬中学校は２つの用途地域にまたがる敷地になっております。近隣商業地域につきましては、都市計画道路から 20 メートルの範囲となっております。 次に、右下にあります丸を半分に分けまして、上下に数値を記載しているのが、この地区に定めております容積率と建ぺい率を示している凡例になります。図中の第一種低層住居専用地域は容積率 100%、建ぺい率 50%です。近隣商業地域は容積率が 200%、建ぺい率は 80%となっています。 続きまして、左下にあります「用途地域」についてご説明します。 用途地域のうち第一種低層住居専用地域といいますのは、低層住宅の良好な環境を守るための地域とされており、その中には住宅、小中学校などが建てられる地域となっております。近隣商業地域は、近隣住民を対象とした店舗、飲食店、病院、倉庫などが建てられる地域となっております。 次に、建ぺい率とは敷地面積に対して上から建築物の占める建築面積の割合の制限になっています。容積率とは、敷地面積に対して建築物全体の延床面積の割合の制限となっております。 防火地区ですが、中瀬中の敷地は全て準防火地域となっております。防火地域の趣旨としましては、市街地における火災の危険を防除するために定められる地域になっておりまして、杉並区ではほとんどの地域が準防火地域に指定されております。 高さ制限ですが、第一種低層住居専用地域内は最高高さ 10 メートルとなっています。原則この地域で建てられる建築物の最高の高さが 10 メートルということになります。これを超える建築計画を行う際には、許認可等の手続が必要となっております。 高度地区ですが、第一種低層住居専用地域内は第１種高度地区となっており、近隣商業地域は第２種高度地区となっています。高度地区とは、いわゆる北側の斜線制限に該当するものでして、北側の隣地への圧迫感をなくし、日照・採光・通風などを確保するために定められております。 日影規制ですが、第一種低層住居専用地域と近隣商業地域でそれぞれ規制がございますが、これにつきましては図面等を使っての説明でないと難しい部分がございますので、後々の建築計画の中でご説明したいと思いますが、規制の趣旨としましては敷地周囲の日照を確保することを目的として、建築物の高さを制限する目的となっております。 用途地域に関しての簡単なご説明は以上になります。 続きまして、右上の「周辺環境」についてご説明いたします。中瀬中学校は４方向が道路に囲まれておりまして、南西の一部が隣地に接している状況になっています。 北側から行きますと、北側及び東側は全て幅員 5.45 メートルの道路に面していて、北側では道路が西から東に向かって高くなっています。

	東側の道路につきましては、北から南に向かって中ほどで一度高くなり、その後早稲田通りに向かって少し下がっております。 南側につきましては、幅員約 11 メートルの早稲田通りに面しており、歩道があって、敷地中ほどの前にはバス停がございます。高さにつきましては北側同様、西から東に向かって高くなっております。 最後に、西側は幅員 7.27 メートルの一方通行の道路に面しており、北から南に向かって高くなっています。ほとんどの場所で道路と敷地の間には高低差があり、運動場の高さをプラスマイナスゼロとした場合、北西側の道路が約３メートル低くなっており、東側の道路が約２メートル高くなっています。トータルで言いますと、東西で約５メートルの高低差となっております。敷地内については、おおむね平坦になっております。 続きまして、右下の「既存施設の概要」について説明いたします。 まず校舎についてですが、北から西にかけてＬ字に建っております管理・教室棟につきましては、昭和 35 年に最初の建築が始まり、順次増築を行いまして、最後が平成２年の給食室の増築となっております。 西側にある体育館は、昭和 36 年の建築となっております。 同じく西側にあるクラブハウスは、昭和 54 年の建築となっています。 南側には地上プールがあり、昭和 41 年の建築となっております。 右側の表につきましては、各種面積を記載しています。面積については記載のとおりですが、運動場の面積については、高射砲台跡地を除いた有効面積が約 4,900 平方メートルとなっております。 敷地の概要の説明としては以上になります。
進行役	それでは次に「改築基本方針（たたき台）」について、事務局から資料の説明をお願いいたします。
学校整備課長	それでは、私から「改築基本方針（たたき台）」についてご説明いたします。資料４を御覧ください。 まず、この改築基本方針について簡単に説明します。これまでもいろいろ、改築の際に懇談会を開きまして、学校の改築に当たって基本方針の作成を最初に行っています。これは、これから改築の基本設計も並行して進めていくわけですが、委員の皆様も含めて改築に対しての共通のイメージをきちんと共有していこうということでこちらを作成し、基本設計に生かしていくということでございます。 形としましては、これはたたき台ということで３つ掲げておりますが、ビジョン、それに対する目標、さらにそれぞれの取組ということで整理して、イメージしやすい形でまとめたものを作成しています。 今日は、改築基本方針の作成に当たりこれから議論していく出発点となるように、たたき台を作成しました。 ここで作成した中身についてご説明しますと、今回の中瀬中学校改築ということですが、区立学校でありますので、共通の考え方がございます。例えばこ

	ちらにも出ている、先ほどからのお話にもあった長寿命化を踏まえて、80 年程度使用できる建物をつくっていくとか、取組Ａにもありますが、必要な教室や諸室もきちんと確保していかなければいけません。 それから地域の防災拠点、震災救援所や水害の対応などに学校施設を使うことがありますので、そこはある程度共通しているということで、ここで挙げております。先々ではコストダウンも含めて考えなければいけないところでございます。 同時に、先ほど校長先生の説明の中で頂いていますが、中瀬中学校の特色もございます。先ほどのお話の中でもありました取組Ｂに、ＩＣＴの環境や学校図書館を中心としたラーニングセンター機能の充実。あるいは取組Ｃにも書きました、部活動なども非常に盛んということで、部活動も活発に行える環境の整備。 あとは取組Ｆ、ビオトープも充実していく。あるいは取組Ｇ、科学と自然の散歩みちなどの周辺環境など、中瀬中学校あるいは地域の特色もこの中に入れていきたいということで、これはたたき台ということで記載しております。 委員の皆様には、今回これらのたたき台を作成しましたが、これからこれを作成していくに当たって、今後の設計あるいは配置などを決めていく中での肝になる部分でもありますので、ぜひ多くの皆様から活発な議論を頂ければと思っております。 こちらの説明については以上でございます。
進行役	それでは、次に「懇談会ニュースの発行について」。事務局からお願いいたします。
教育施設計画推進担当係長	本日席上に配付しました参考資料、杉並第二小学校の校舎改築ニュースを御覧ください。改築に当たりましてこういった形でお知らせを発行し、近隣住民の方や保護者の皆様に配付しています。昨年度の杉並第二小学校の改築検討では４回発行いたしました。 本懇談会においても、改築の内容の節目に発行してまいりたいと考えております。創刊号といいますか第１号ができましたら、皆様にも御覧いただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。
進行役	大分駆け足で来ましたが、それでも少し押しています。事務局から区としての改築における基本方針や考え方、あるいは懇談会の予定などについて説明がありました。 本日の資料について、委員の皆様からいろいろなお言葉を頂戴したいと思います。コロナウイルス感染予防の観点から、簡潔に一言ずつお言葉を頂ければと思います。そのため、十分に発言できなかった部分につきましては、机上にお配りしました感想シートに記入の上、事務局に提出していただければと思います。後日、事務局から皆様に共有できる形にしたいと思います。 皆様からお一言ずつ頂きますが、校舎改築検討懇談会ですので、生徒たちが過ごしていく学校の改築に限定させていただきますので、よろしくお願いしま

	す。特にないようでしたら、「ありません」ということでも結構です。 　マイク使用の際は、冒頭でもありましたが、机上にある手袋をご使用ください。 　では、席順に従って学識経験者の先生には最後にご講評を頂きますので、お願いいたします。
委員	突然言われましたので、私も参考資料も読んできましたが、今すぐここでいろいろなことが出るというのは難しいと思います。大変申し訳ありませんが、さらに勉強していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。
委員	私もこの中瀬中学を卒業しております。最初から見ていますが、校舎も何回も建て替えて、今度は道路も広がるということで、変わるのではないかと思っていますが、ひとつよろしくお願いいたします。
委員	私も息子も娘もこの中瀬中学の卒業生で、私がちょうど在校当時に体育館ができたものですから、ぜひとも立派な改築をしていただきたいと思います。私の嫁は井荻中でございます。
委員	今、いろいろとお話をお伺いしました中で、私なりに考えておりましたのは、改築基本方針のたたき台に載っていた、以前から中瀬中学の部活、特に運動関係、音楽関係が非常に優れているということで１つお伺いしたいのですが、杉並区内でいわゆる階段教室、平面教室ではなく階段教室などを備えている学校がないかをお伺いしたいと思います。
学校整備課長	現状では、階段教室になっているところはありません。
委員	中学生にとってこの学校が、いろいろなことを誇れる母校としてずっと心に残る学校を建てていただければいいかなと。それが、小学生にとっても憧れの学校になるのではないかと思います。いい学校を期待しています。よろしくお願いします。
委員	今日はどうもありがとうございます。ちょうどこの改築が始まりまして完成する頃には新学習指導要領、次の学習指導要領について検討されていると思います。 　コロナの影響により、区ではオンラインによるホームルームとか、多様なＩＣＴを使った学習を行っていますが、ＩＣＴ環境はどんどん変化しますので、その変化に対してどのように対応できる校舎になるのかということで、興味を持っています。また最近の豪雨で、防災に強い校舎の改築が大切だと私は思います。 　中瀬中は、先ほど校長からお話がありましたように、部活がとても盛ん。ということは、体育館に多様な運動ができる施設があってもいいのではないかと思っていますので、そういう、子どもが活躍できる校舎にしていきたいと思います。よろしくお願いします。
委員	本校の卒業生の多くの子どもたちがここに通うことになります。今も元気よく、学校側を通って中学校に通っている様子を見ていると、子どもたちが元気

	で、精いっぱい活躍できる校舎ができるといいと思っています。 　使い勝手のよい、教員にとっても子どもたちにとっても、そういう校舎となるといいなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。
委員	私の息子はもう大学生ですが、中瀬中にお世話になっていたので、ちょっとでも息子が通っていた時代の面影を残しつつ、楽しく安心・安全な、子どもたちが通える中学校になるように、ぜひお願いしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
委員	今も子どもが中学校に通っております。私は近所に住んでおりまして、今回の建替えに非常に関心があります。 　中瀬中の校舎が建って 60 年、この近隣の地域は中瀬中があることによって、早稲田通りの音や校庭の砂から守られてきています。ですので、中瀬中が今の位置に建てば周辺環境も変わらないと思いますが、違う位置に建ってしまうと非常に変わります。 　例えば西側に建った場合、東から先の家については早稲田通りの音や校庭の砂、中瀬中の校庭の砂は非常に細かいです。そういった砂が家に降りかかるようになってしまいます。もし場所を変えるのであれば、防音壁や守ってくれる壁を造っていただきたい。そういったところも、一緒に考えていただきたいと思います。 　近隣の方でも、日当たりや砂、音などを非常に気にされている方のお話を私は聞いております。もし意見を言う場があるなら言いたいという方もいらっしゃいますので、これから 80 年ずっと続くのであれば、周辺のことも考えていただいて、建築を進めていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。
委員	一番望むものは、この地域のここに中瀬中があってよかったと、地域のみんなに喜んでもらえる学校にしてもらいたいということが１つです。 　今日の会議についてですが、設計事務所が決まったというお話がありましたが、紙ベースで紹介があってもよかったのではないかと思います。せっかく来ていらっしゃるのに、これから先もまた会えますからみたいな紹介でしたが、そこを見たかったと思いました。 　以上です。
委員	よろしくお願いします。 　大抵議事録という形で出てくるのは、口頭でお話しになったことばかりになってしまう。時間の節約のために、事前に頂いた資料に関してこういうペーパーで意見を出しました。よろしくお願いします。（事前送付した意見（別紙参照）） 　それと１つ伺いたいのは、「計画地の概要」のところで、早稲田通りは拡幅の計画はありませんでしたか。もし道路計画があるなら、それも入れていただきたかったと思います。
進行役	もしよければ、まとめて答えていただければと思います。

委員	それと近隣の方の話もありましたが、自然の風の流れやそういうもの、この敷地がどうなっているかは校舎を考えるときにとても重要なので、ほぼ南北に向いているから南北に風が流れると思いますが、気象条件も分かれば分かる範囲で情報としていただければと思います。 もう１つは、多分これから出していただけると思いますが、図面で判断するのは難しいので、そういう建物が周りにどういう影を落とすとか、どういう形になるとか、スタディ模型を造られると思いますので、そういうボリュームが分かるものを、みんなに分かりやすい形で今後出していただけると大変ありがたいと思います。 以上です。
委員	私もここの卒業生です。これからいろいろと出てくると思いますが、まず生徒たちが、ここら辺は小学校・中学校にしてもある程度校庭を確保できている中で育ってきていますので、建物をメインにしてしまうと運動場が限られてしまうことがありますので、ぜひともそこら辺、これから造っていく中で考えてやっていきたいと思います。
委員	私はこの杉並区で３つの中学校で校長をやってまいりまして、ちょうど今校長先生が座っていらっしゃるところで松溪中の建替えのときに関わった経験がございます。設計段階まで全部関わっておりましたので、中瀬中が新たに建て直すということでお声がかかったのだと思います。 松溪中とここと当然地域が違いますので、事情その他いろいろな関係は違うと思いますが、当時のことを含めて、もし何か気がついたことがあればお話をしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
委員	八成小の子どもたちもいっぱい中瀬中に通っています。ぜひ子どもたちの意見も入れながら、地域とのつながりもすごく深く、部活動なども伝統がある学校ですので、そういうことを大切にしながら、それを校舎にどう生かすのかは分かりませんが、そういった視点を大切に進めていければと思っています。よろしくお願いいたします。
委員	貴重なお時間をありがとうございました。個人的には僕自身が共感しているコミュニティスクールみたいな考え方、この学校というか子どもたちの育て方というのは、学校一本足というよりは地域とともに育てていくものではないかと僕自身思っているので、ここでいう取組ＤやＬ、要は開かれた状態とか、そういう柔軟性のあるところを、学校だけというよりはどういう人の流れなのかというところから突っ込んでいけるといいのではないかと思っております。 以上です。
委員	今日はありがとうございます。 現在、うちの娘たちもここに通っていて特に不満もないので、新しくなるだけで喜ぶ生徒は多いと思いますが、地域のランドマークとして、卒業した後にも関わっていける形であればいいなと思っております。よろしくお願いします。

委員	少しお時間を頂いても大丈夫でしょうか。たたき台に出ていることで、今の中学校の建築計画に関することはほとんど網羅されていると思いますが、全国の中学校の建替計画のとき、どんなことが建築の課題になっているかというのを、私なりに少し整理しました。８つポイントがあるので紹介したいと思います。 １つ目は、取組Ａにある教育の質を高めるということです。これは、いろいろな取組がございます。今、普通の中学校を造りますと、普通教室と特別教室、理科や音楽という形で造っていますが、それ以外の国語や社会という科目に応じた教育をやっていく、教科教室型という言い方をするところもありますが、そういう取組もございます。 さらに、教科教室型と普通教室型の中間のような形で、先生たちが一緒に教材を作ったり、グループ指導をしたりという工夫をしている学校もございます。 それから、子どもたちが主体的に学ぶアクティブラーニングをするために、どういう形の空間が望ましいのかということに関して、建築家を含めていろいろな提案をしているところがございますので、そういうところは考えるべきではないかと思います。 先ほど先生のための空間というのがありましたが、なかなか少ないです。先生たちも大変なところでお食事を取ったり、休憩をしたり、休憩する場所もないぐらいのところが多いと思いますが、いい教育をするためには先生たちのスペースも考えておく必要があると思います。 ２番目は情報メディアを活用する空間ですが、校長先生の話にもありました、図書館を中心としたということがあります。それからコンピュータを中心としたということもありますが、コンピュータもどんどん変わってきています。昔はデスクトップでしたが、今はノートになり、それがタブレットになり。なので、コンピュータはいろいろな場所で使えるようになってくると思います。５Ｇという新しい形の通信網も整備されてきますので、将来的にどういう形でコンピュータと既存の図書などのメディアを融合して学びを作っていくか。これは非常に大きな課題になると思います。 ３番目は、子どもたちの生活をちゃんと考える必要があるのではないか。今までの普通教室ですと、食事も更衣も学習も全部１つの教室でやっていましたが、本当にそれで子どもたちが落ち着いた生活を組立てられるのかということも、少し考えたほうがいいと思います。 集団の場所、個人の居場所、生徒のトイレ、食事、更衣、休息。そういう生活行為をきちんと見直して、本当に使いやすい空間とはなんだろうということを考えておく。そういうチャンスになるのではないかと思います。 ４番目は、コミュニティのための空間計画。かなりたくさん地域との交流があるということが分かりました。地域の方が学校に来て、検定をされる。そういうことは非常に特色ある活動だと思います。 今この写真を拝見しますと廊下で検定をやっているようですが、せっかくこ

	ういう活動があるのなら、検定の場所はどんな場所があったらいいのだろうかということを考えて、中瀬中らしい空間はこういうところから生まれていくのではないかという気もしております。コミュニティの核となる。では、コミュニティのために、どういうスペースが中学校の中にあるといいだろうか。地域とより交わって行けるだろうかということを考えることが大事ではないかと思います。 　５番目は安全・安心ですが、これは防犯や耐震性の話もあり、シックハウスという使う材料によって障害が出てきたり、病気になったりということがありますが、そういうことに関してもちゃんと考えておく必要があると思います。 　６番目は、最近エコロジーやサステナブルというキーワードがあります。建物の省エネルギーやエネルギーを生み出す太陽光発電など、子どもたちにちゃんと見せて関心を高めてもらう。そういう建築にしていくことが課題になっていて、今回もそういうことに配慮されるといいのではないかと思います。 　７番目は、ユニバーサルデザインやインクルーシブというキーワードです。障害を持つ方たちへの理解。それは同級生だけではなく、地域の障害を持った方たちへの理解ということも日常的に分かるように。それが建物として、健常者も障害者も分け隔てなく同じデザインになっている、これが当たり前ということが中学校の建物を通して学んでいけることが大事ではないかと思います。 　最後に、いろいろな先生方からありましたように愛着を持って、この学校に来てよかった、この学校に行きたいと思われる、そういう愛着を持つ豊かな空間体験ができる学校にしていただきたいと考えます。 　長くなりましたが、以上です。
委員	先ほどの自己紹介のときに話しましたが、私は最初の校長が、もう 30 年近く前の話ですが和泉中学校でした。小金井の学校から校長で来て、まずびっくりしたのが昇降口の脇にエレベーターがついている。そのエレベーターを使って職員室まで上がっていくというので、後からよくよく考えて調べてみると、それは給食運搬用のエレベーターを人も使えるように共用にした形でしたがびっくりしまして、区内の学校はこういうことがあるのだと思いました。一方で、たかが２階あるいは３階に行くのに階段を使えばいいではないかとも思いましたが、多摩地区の学校と区の学校の違いにまずびっくりしたものです。 　その後２年か３年して、車椅子を使う子が入学してきました。今の委員のお話にもインクルーシブが出ましたが、その頃はまだ肢体不自由などの子どもたちは特別支援学校や特別支援学級ということで、通常の学級にはいませんでした。和泉中はエレベーターがあるということで選んで入ってきたという経緯もありましたが、その子どもが入ってきて対応するときに、エレベーターはあるとないとでは全然違いました。そういうことで、なるほどと思ったのを今思い出しました。 　ここにも出ていますが、これからの教育はどういうことを求められてくるのか、必要になるのかを想像していくのはなかなか難しいところもありますが、

	先ほどから皆様が言われているように、50年後あるいは60年後を見通して、どういう施設であればいいのかを考えていくのが大切と思います。 併せて、その学校らしさ、特徴がある施設ができると、子どもたちにとっても地域の人にとっても、そこで働く教職員にとっても誇らしげな、この学校で働いていた、この学校で学んでいたことが誇りとなれるような学校がつくれていくといいと感じています。 そういう意味で、この改築基本方針のたたき台は、たたき台として整理されていてよくできていると思いますが、何しろ時間も回数も限られているということですので、その意見の集約の仕方も難しいところはあると思いますが、先ほどから出ていますように、意見の出し方、集約の仕方等を工夫しながら、より実りのある意見交換ができるなといいと思っています。 ありがとうございました。
進行役	委員の皆様からご意見を頂戴することができました。事務局のほうで、何かまとめて回答できることがあれば。
営繕課主査	それでは営繕課から、先ほど都市計画道路の件でご質問がありましたので、ご説明いたします。 先ほど使いました資料３を御覧ください。「都市計画図」の記載があり、図の左下に引出し線で「都市計画道路（補助74号線）幅員：15m」と記載しておりまして、これが拡幅予定の都市計画道路の幅員となっております。現在は約11メートルなので、４メートル程度広がる予定となっています。これにつきまして都市計画決定はしていますが、事業化はしていませんので、具体的な日程等は、今は決まっていないと思います。 それからスタディ模型についてですが、最初は中瀬中の現況が分かる模型を最初に作ろうと思っていますが、今回かなり短いペースで設計が進んでいきますので、図面の作成とプランのスタディ模型の作成については、バランスを見ながら進めたいと思っています。
進行役	道路の拡幅については、中瀬中側はもう終わっているということですね。
営繕課主査	詳細については、東京都になりますので明確にお答えはできませんが、この図を見る限りは大体現況と同じ位置に見えます。
進行役	あと、設計会社の紹介は。
営繕課主査	では、簡単に挨拶だけお願いします。
アール・アイ・エー	このたびお世話になります、株式会社アール・アイ・エーと申します。杉並区様とはご縁もありまして、井草中学校の設計を以前担当しました。これから皆様のお世話になると思いますので、よろしくお願いいたします。
進行役	よろしいですか。 それでは、事務局から連絡事項をお願いいたします。
教育施設計画推進担当係長	連絡事項になります。まず１点目は、本日の会議録についてです。会議録については、１カ月程度をめどに皆様に議事録の案をお送りいたしますのでご確

	認いただきまして、修正の必要があればご連絡を頂ければと思います。懇談会の資料と議事録については、杉並区の教育委員会のホームページに掲載してまいります。よろしくお願いいたします。 ２点目は、次回以降の懇談会日程についてです。本日、席上に開催通知を配付いたしました。次回第２回の懇談会開催通知になります。８月 21 日金曜日になっております。松溪中学校と井草中学校を視察いたします。 現在の感染状況から、視察先については区内の学校とさせていただきます。また、視察先の学校の要望もあり、生徒たちのいない夏休みということでこの日程となりますので、よろしくお願いいたします。 第２回につきましては、開催通知に記載のとおり午後１時 30 分に中瀬中学校の駐車場に集合いただき、区でマイクロバスを用意いたしますのでご乗車いただきます。まず松溪中学校、その後に井草中学校を見学し、見学後に井草中学校の会議室で意見交換をさせていただきたいと思っています。おおむね午後５時前ぐらいの終了予定になっております。 終わった後、井草中学校から中瀬中学校までバスでお送りしますが、もし井草中学校で現地解散を希望される方がいらっしゃいましたら、それでも構いませんのでよろしくお願いいたします。 マイクロバスの関係もありますので、この日既にご出席が難しいという方がもしいらっしゃいましたら、挙手いただけますか。
（欠席予定者挙手)	
教育施設計画推進担当係長	ありがとうございます。 次に、第３回の日程のご連絡になります。第３回につきましては、先ほど今後の懇談会の予定で９月に第３回と記載しましたが、９月４日金曜日の午後２時から、学校ではなく井草地域区民センター、ここから歩いて５分ぐらいになりますが、そこの第１・第２集会室を一体使用し、大会議室の形で開催いたします。 開催通知に、この近くではありますが地図を掲載します。本日ご欠席の方もいらっしゃいますので、第２回と第３回懇談会の開催通知につきましては、改めて皆様に送付させていただきます。 あと事務連絡になりますが、本日お配りしましたお茶のペットボトルにつきましては、お手数ですがお持ち帰りいただきますよう、よろしくお願いいたします。 最後になりますが、事前に送付しました口座振替依頼書、あと本日お配りしていますご感想シートをご記入いただいた方につきましては、終了後に入り口で係員にお渡しいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。 連絡事項は以上になります。
進行役	それでは閉会に当たり、最後に学校整備担当部長よりご挨拶をお願いいたします。

学校整備担当部長	皆様、どうもありがとうございました。冒頭のご挨拶の中で皆様にも課題を共有していただきますと申し上げましたが、皆様方から様々な、こういった問題があります、こういったことも考えてくださいといった話がたくさん出たと思っていまして、事務局でもどういう形で対応していくか、これからまとめたいと思っています。 これから実際に皆様と一緒に会を進めていくわけですから、必要な資料は十分に確保し、提供したい。先ほどＣＳからも、建物に関する様々な資料をぜひ出してほしいという話がございましたが、課題を共有するということは、同じ資料に基づいて議論をさせていただくということですから、その辺も踏まえて準備をしたい。 次が視察ですから実質的な議論は９月４日、まずは様々な宿題を頂いたと思いますので、しっかりと対応していきたいと思っています。 本日はありがとうございました。
進行役	それでは、本日はこれで閉会といたします。ありがとうございました。

別紙

資料2「中瀬中学校改築について」についての意見

２、改築検討における主な視点　について

（意見１）コスト面の検討は重要な問題であるが、これが優先されて、学校建築としての質がおろそかになることがあってはならないと考えます。中学校は今後80年に渡り、多感な子どもたちが３年間、一日最大８時間程度の時間を過ごす、学習・生活空間であり、学校施設としての専用性をまず第一義的に考えて計画したいと思います。（用途転用を前提にしない）

（意見２）地球環境の悪化は深刻です。これから建設されるすべての建物は、サステナビリティーへの配慮のあるものでなければならないことは自明の理です。本改築も同様の視点を明示したいと考えます。

（意見３）自治基本条例でも謳われている、協働・参加の視点を入れて、「みんなで作り育てる学校」を入れたいです。ビジョンのところでも提案します。

■資料4改築基本方針（たたき台）に追加したいビジョン・目標・取組

点線内はたたき台案、実践内は提案

ビジョンⅠ
多様な学びや活動を支え、将来を見据えた学校

目標　教職員や地域のサポーターが活動しやすい学校づくり

取組：教職員のためのスペースの充実を図る

取組：地域のサポーター（学校支援本部や学習支援員など）やPTAのためのスペースの充実を図る

ビジョンⅡ
環境に優しく、安全で快適に過ごせる学校

目標：建設から利活用、廃棄まで、環境への負担を少なくした学校づくり

取組：**サステナブル**な校舎の実現
（再生産性と環境負荷の少ない、廃棄までを配慮した建材）（省エネルギーを考慮した計画、構法、設備とその運用）
参考資料：「環境に責任ある学校の建設と運営に関するガイドライン（案）（早大：高口洋人さん作成）他

安全・安心で居心地の良い生活空間としての学校づくり

機械力に頼り切るのではなく、できるだけ自然の力（太陽光、風など）を生かしここち良さのある校舎に（配置・平面計画、ベランダ・ひさしなどの建築施設・設備とその賢い利用）
子どもたちの生活空間としての質を大事にする。（学ぶ、集う、くつろぐなど）
参考資料：「高円寺中の生徒たちの感じるここち良さとは」（山内作成）

■資料4改築基本方針（たたき台）に追加したいビジョン・目標・取組

点線内はたたき台案、実践内は提案

ビジョンⅢ
地域のランドマークとして、地域に開かれ、地域とともに歩む学校

目標ｖ
学校の伝統と特色を生かし、地域に支えられ、地域の活動を支援する学校づくり

図書館などを可能な範囲で地域にも開放できるようにして、社会教育（生涯学習）の拠点にもなるように考える。

目標Ⅵ
地域の防災拠点としての十分な機能を備えた施設整備

取組：災害弱者（子ども、高齢者、障碍者）や女性、マイノリティーの避難等にも対応できる施設的配慮を

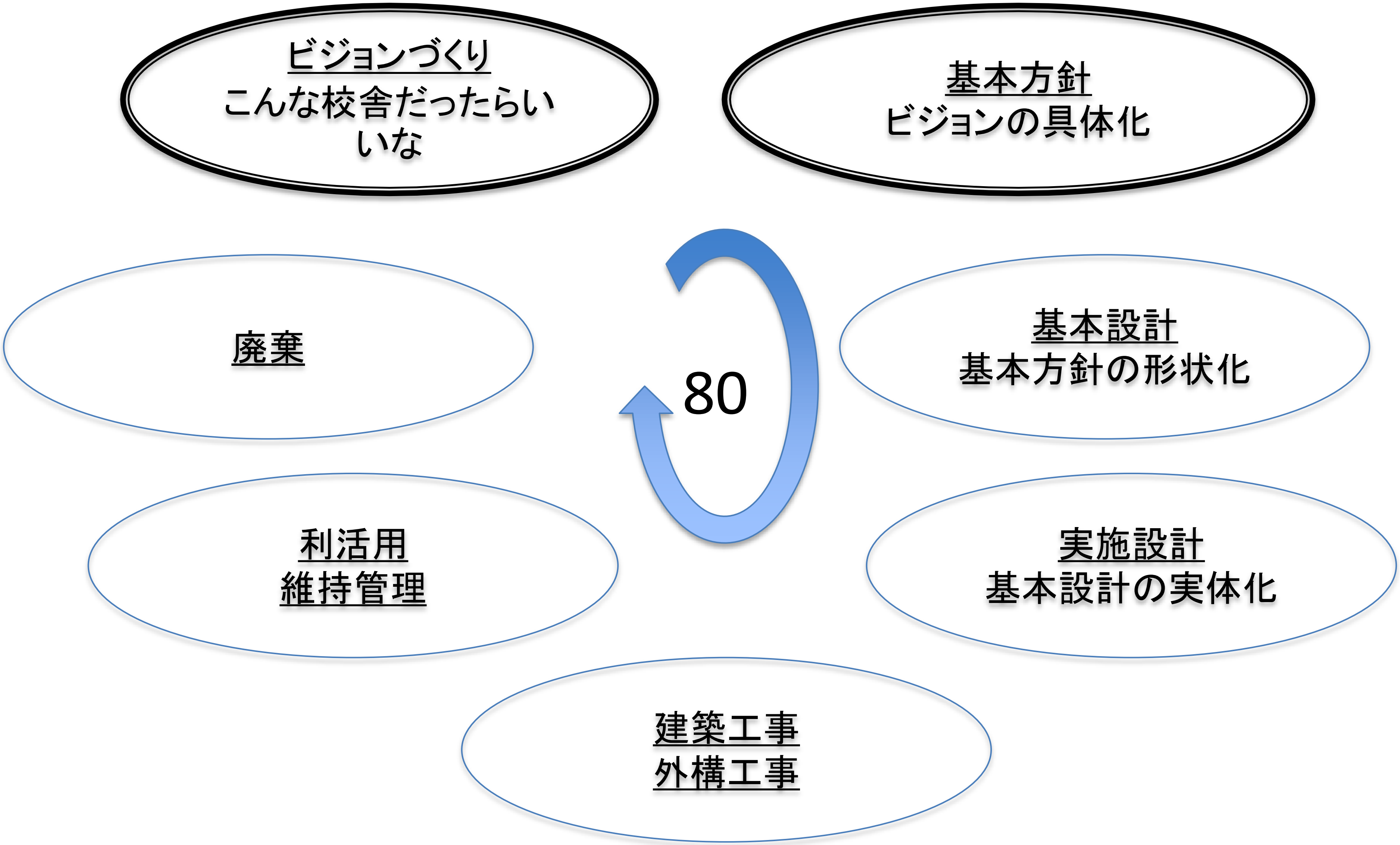
ビジョンⅣ
みんなで作り育てる学校

目標Ⅵ
生徒、教職員、保護者、サポーター、地域、みんなで考え、できる範囲で学校づくり・学校育てに参加する

取組：改築検討懇談会だけではなく、基本計画や基本設計の各段階で案を公表し、意見を求め、参考にしていく。
（参考：杉並区自治基本条例第25条）

取組：ビオトープづくりや教室等の装飾など、生徒やサポーターが共に施工に参加できる場を設ける。施工後の維持管理の体制づくりも共に検討する。

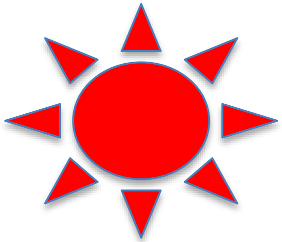
参考図：学校校舎の一生（ビジョンづくりから廃棄まで



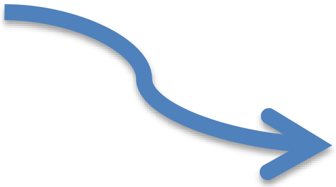
参考：◆高円寺中学校二年生理科環境学習（2002年2月）
「新校舎でここち良くエコに過ごす工夫を考えよう」
をサポートして（山内　洋）
～中学生が感じるここち良さとは～
（中学生が提案するここち良い学校空間）より

中学生が感じるここち良さとは
（事前ワークと授業グループワークから見えてきたこと）

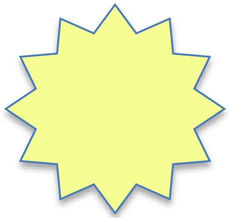
陽が当たる



自然換気ができる
風が通る

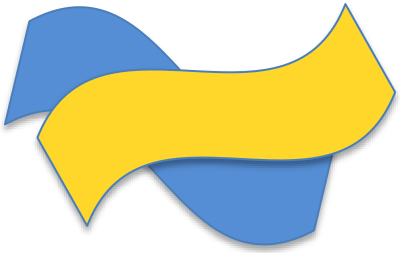


明るい

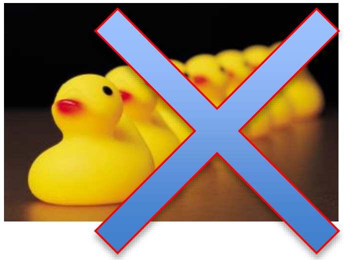


臭くない

暖かい・涼しい



人が多すぎない



懇談会の進め方についての意見

◆コロナ禍の中での会議の持ちに工夫を

会議時間が短くなるのは止むおえないし、必要なことと思います。ただ、そのために検討がおろそかになることは避けなければなりません。希望する委員は事前に意見を書面で提出しておき、事務局に当日または事前に配布していただいてはどうでしょうか。意見交換が効率的に進むと思いますし、リスク回避のために欠席される委員がいらしても、その意見も拾いあげられると思います。

◆教育政策や学校施設に関する基礎知識をコンパクトに学べるテキストがほしいです。（区内での汎用性のあるもの）

懇談会の委員は、学校教育に関する行政計画や建築、校舎設備などに関しての基礎的な知識を持って集まっているわけではありません。具体的な校舎配置や平面計画等に関して実りある意見交換を進めるためにも、ごく基本的な行政計画や、学校建築・設備に関する用語、資料リストなどを簡単にまとめたテキストがあると、委員はとても助かります。必要に応じて委員がテキストを参照することで、単なる思いつきでない、ていねいな意見交換ができると考えます。今後順次進められる他校の整備のための懇談会委員にも役立つものなので、この際作成していただけるとありがたいです。(必要と感じる委員がデータで提供していただける形でも良いと思います。）

〇提供していただくとありがたいと思う情報（思いついたものだけです。内容はご検討をお願いします。）

＜一般＞

関連用語集：これは是非ほしいです。教育関係の用語（ex:アクティブラーニング、エコスクール、オープンスクール、オープンスペース、メディアセンター、ラーニングセンター、ビオトープなど）、建築の用語（日影と日照、用途地域、高度制限、斜線制限、地盤面、太陽光発電、ヒートトレンチ、ナイトパージなど）

＜杉並区＞

杉並区立小中学校新しい学校づくり推進基本方針（H26）杉並区教育ビジョン2012推進計画（R2）エコスクール整備の考え方（H31)みどりの基本計画（H22)、地域防災計画（R1)等

＜国＞

H29中学校学習指導要領、中学校施設整備方針（H31)　学校図書館五カ年計画、エコスクール／環境を配慮した教育施設の整備推進（文科省他）等

別 紙

中瀬中学校校舎改築に関して支援本部結の意見コレクション		
2020/三月		
1	自然・ビオトープを大事に	学校アンケートより
2	校庭東側段々を残したい	PTA
3	校庭芝生化はだめ	以下結
4	緑・ビオトープを大切に。現在の樹木の伐採はしないで	
5	自然に囲まれた学校を	
6	校舎は今の位置で	
7	正門がはっきりしないので、北側なら北側できれいな正門がほしい	
8	図書館をみんなが足を運びやすい場所において出入りしやすくしてほしい	
9	支援本部を入りやすい場所に	
10	アリーナのついて明るい体育館がほしい	
11	日の当たる現校舎と同じ配置の建物	
12	ぬくもりのある木造、もちろんバリアフリー	
13	全体的に明るい雰囲気	
14	窓を大きく明るい校舎	
15	校庭は、もちろん現状位の面積で	
16	地球温暖化に伴い、地下深く掘り下げ、地下より冷たい空気を各部屋に取り入れたらどうでしょう。	
17	屋根にソーラーシステムを設備し、電気を利用したらどうでしょう	
18	整備された使い勝手のよいプール（更衣室など）	
19	自然の力を生かした学校（風、太陽光など）	